

ヨハネス・ケプラー大学記号処理研究所と研究協力

7月1日、生命情報工学研究センターとヨハネス・ケプラー大学記号処理研究所（オーストリア、リンツ）は、研究協力覚書を交わしました。ヨハネス・ケプラー大学記号処理研究所は、グレブナー基底の発見所の一人である Bruno Buchberger 教授が中心となって計算機代数に関する研究を専門とする世界的な研究所の一つです。今後、代数生物学国際会議の協賛を中心に研究協力体制を築いていきます。

大川情報通信基金 2007年度研究助成対象に採択

（財）大川情報通信基金の 2007 年研究助成対象者に、野口 保副研究センター長が選ばれました。（応募総数 346 件、助成対象 40 件）研究対象テーマは、「網羅的ゲノム解析情報を用いたタンパク質機能発現予測」です。

創薬インフォマティクス技術者養成コース 開講

夏期に集中開催している創薬インフォマティクス技術者養成コースが、8月6日に開講しました。今年は製薬企業の方を中心とした 20 名が熱心に受講しています。また、バイオインフォマティクス速習コース II の受講者募集も 8月31日で終了し、多くの皆様からご応募いただきました。



講義の様子



講義中の広川講師

人事異動

【退職】 7/31 付

・ラリサ・キセレヴァ（配列解析チーム 産総研特別研究員）

成果紹介

（最近の成果の中から選んだものを掲載しています。）

【対外発表】

- 福田 賢一郎: "BioPAX: パスウェイデータフォーマットの標準化とオントロジー", 生物物理, **47**(3), pp.179-184 (2007).
- 富井 健太郎: "膜タンパク質のホモロジーモデリング", ファルマシア, **43**(4), pp.353-354 (2007).
- 福田 賢一郎: "生命科学におけるオントロジーとその利用", 人工知能学会誌, **22**(01), pp.70-76 (2007).
- 廣明 秀一, 塩澤 久美子, 富井 健太郎: "ペルオキシソーム因子 PEX1 ATPase の N 末端ドメインの立体構造が示した AAA ATPase 間の進化的類縁関係", 生物物理, **46**(3), pp.159-163 (2006).
- Huang, L.T., Gromiha, M.M., Ho, S.Y.: "iPTREE-STAB: interpretable decision tree based method for predicting protein stability changes upon mutations", *Bioinformatics*, **23**(10), pp.1292-1293 (2007).

研究員紹介

- 1 趣味や自己紹介など
- 2 研究内容や抱負

上野 豊

Yutaka UENO

主任研究員(併任)
(産総研 脳神経情報研究部門)



- 1 硬派の秋葉原めぐり。お茶の水の楽器屋にも掘り出し物を探しながら神保町まで足をのばしてみる。元関西プログラマー。
- 2 構造生物学での計算機活用。生物学にとってますます重要さを増す計算機をやつる要のプログラム言語として lua 言語を使ったプロの手法を開拓していきます。

寺井 悟朗

Goro TERAI

RNA 情報工学チーム
共同研究
(（社）バイオ産業情報化コンソーシアム)



- 1 大学院からゲノム配列解析を行っています。現在インテック W&G に所属しています。冬はスキーによく行きます。
- 2 新規 non-coding RNA（特に micro RNA）の予測を行っています。ゲノム分野での企業の存在意義を見出したいと考えています。

酒井 紀子

Noriko SAKAI

生体ネットワークチーム
共同研究
(（独）科学技術振興機構)



- 1 高校教員を 3 年経験し、現在 JST の技術員として INOH チームに所属。最近興味があるのは園芸と釣り。
- 2 文献からのシグナル伝達パスウェイのキュレーションと、パスウェイをアノテーションするためのオントロジーの開発を併せて行っています。

【DB】ASIAN

階層クラスタリングとグラフィカル・ガウシアン・モデリング (GGM) の組み合わせによるネットワーク推定ツール



<http://eureka.cbrc.jp/asian/>

＋編集後記＋

今年の秋号は、例年より 1 ヶ月早いお届けです。暦では既に秋ですが、まだ暑い日が続く実感は乏しいという方が多いのではないのでしょうか。時には手を休め、自然へ目を向けてみると、思わぬところに秋の気配が見つかるかも知れません。小さな秋を探しながら、来る秋冬の仕事と私事の両りへ思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。周囲に秋が見つからない、その時は弊誌を広げて秋を感じて頂ければ幸いです。

CBRC ニュースレター 第 21 号 (2007 年 9 月 1 日発行)

禁無断転載

【編集発行】

技術を社会へ
Integration for Innovation



独立行政法人

産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海 2-42 産総研臨海副都心センター別館 バイオ・IT 融合研究棟

TEL: 03-3599-8080 (代表) FAX: 03-3599-8081 E-MAIL: info@cbrc.jp <http://www.cbrc.jp/>